

平成30年度事業報告書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

I. 事業活動の概況に関する事項

1. 事業年度の主要経過

我が国の経済状況は、穏やかな回復傾向にあると言われており、2012年12月に始まった景気回復は戦後最長期間を更新している。

今回の景気回復は、世界経済の拡大で輸出と設備投資が活発になり、回復の原動力となっているとともに、また、日銀の金融緩和策を背景に円安が進み、輸出企業を中心に収益が改善したことも後押しとなっている。

そのような中で、訪日外国人は増加を続けており、昨年3,100万人を突破し、過去最高となっている。ここ大阪でも年々増加し、2018年の来阪外国人は1,100万人を超え、4年前と比べると3倍に増えている。

乳業界では、牛乳・乳製品の消費に関しては、健康志向の高まり等に支えられ、堅調な推移を見せているが、生乳生産については、酪農家戸数や乳牛頭数の減少などにより減少しており、生乳生産の基盤強化が大きな課題になっている。

学乳事業については、中学校給食におけるデリバリー制度や選択制度の導入により種々の課題を抱えるとともに、輸送費や人件費など学乳関連コストの高騰などにより、経営面でもリスクを背負った厳しい環境下に置かれた年でもあったが、関係各位・機関の協力を得て大過なく執行を終えることができた。

こうした中で、当協会は、「牛乳・乳製品の消費拡大」「衛生管理の徹底や安全衛生管理体制の構築」「品質表示に関する公正規約の遵守」「学校給食用牛乳の安定供給や供給制度の改善」を図るため、次の事業実績に示すとおり、各般の事業を実施したところである。

II. 事業実績

1. 牛乳・乳製品の消費拡大

牛乳・乳製品の消費拡大については、会員それぞれが新商品開発やホームページ等を通じて消費拡大に努めるとともに、協会においては中央団体及び関連団体とも歩調をあわせて消費者に対する牛乳・乳製品への理解の醸成を図ったところである。さらに、ブロック会議等への参加促進や中央団体からの情報伝達などを通じて会員一体となった消費拡大に向けた意識の共有化を図るとともに、生乳需要拡大事業の定着に努めた。

1) ブロック会議等の開催を通じた会員への消費拡大の要請

- 一般社団法人日本乳業協会上期ブロック会議 平成30年 7月 9日
TKP ガーデンシティ大阪リバーサイドホテル
一般社団法人日本乳業協会下期ブロック会議 平成31年 3月13日
TKP ガーデンシティ大阪リバーサイドホテル
一般社団法人Jミルクブロック会議 平成30年 4月11日
大阪リバーサイドホテル

2) 中央団体からの情報の提供

一般社団法人日本乳業協会、一般社団法人Jミルクからの消費拡大に関する関連情報を会員に発信し、その周知に努めた。

3) 骨密度測定及び栄養指導事業の実施

一般社団法人日本乳業協会と都道府県協会会員との協同による育成・啓発活動として、大阪府教育センター附属高校文化祭及び大阪府立布施北高等学校文化祭において骨密度測定及び栄養指導を実施した。

- 平成30年 9月8日 測定人員 117人 (大阪府教育センター附属高校)
平成30年11月2日 測定人員 122人 (布施北高校)

4) 酪農教育ファーム事業に参画

近畿生乳販売農業協同組合連合会等と共に、酪農の価値、酪農家の生き方に加え、牛乳の風味変化を含む酪農や生乳の特性について生徒や消費者等に理解醸成、牛乳の飲み残し改善を図ることを目的に酪農体験等を実施した。

- 平成30年 5月29日 もう〜もう〜スクール (和泉市立石尾中学校)
参加人数 300人
平成30年11月18日 近畿酪農フェスタ (吹田市万博記念公園)
参加人数 250人

5) 牛乳乳製品にかかる親子体験教室の開催

近畿農政局、近畿生乳販売農業協同組合連合会共催で牛乳の飲み比べや牛乳乳製品工場の見学を通じて、児童及び保護者に牛乳への関心や風味問題に対する正しい知識を深めていただくことを目的に実施した。

- 平成30年12月22日 日本酪農協同(株)近畿工場 参加人数 40名

2. 衛生管理及び安全管理体制の構築

協会の重点事業として、牛乳・乳製品に対する事故防止及び安全性の確保等を図るため、次の事業を実施した。

2) 成分検査業務

期	1期成分検査	2期成分検査	3期成分検査	合計
検体数	91	92	94	277

3) 検査技術研修会

- ・開催状況 年間10回開催（合併検査コース、分析基礎コース、細菌検査コース）
受講料：有料
実施場所：（公財）日本乳業技術協会 乳業会館
- ・受講会員 ㈱明治関西工場、いかるが乳業㈱

4. 衛生管理助言事業の実施

安全安心な牛乳を供給するため、公益社団法人大阪食品衛生協会食品検査センターの協力を得て、HACCPに準ずる衛生管理に係る助言・指導を次のとおり実施した。

（対象会員4社）

- (1) 第1回 6月7日、6月18日、6月19日
- (2) 第2回 8月27日、8月30日、9月10日、9月12日
- (3) 第3回 11月8日、11月20日、11月28日
- (4) 第4回 1月31日、2月12日、2月14日

5. 乳質管理委員会の開催

良質かつ安全安心な生乳を安定的に確保するため、次のとおり乳質管理委員会を開催し、生乳等の検査方法の検討協議、牛乳・乳製品をめぐる情勢をもとに生乳需給について研修会等を開催した。

- ・委員 ㈱明治、森永乳業㈱、雪印メグミルク㈱、協同乳業㈱、
日本酪農協同㈱、㈱いかるが牛乳、いかるが乳業㈱、
泉南乳業㈱、ビタミン乳業㈱（委員長：森永乳業（株））
- ・開催日 7月27日、10月24日、12月13日、3月26日

6. 衛生研修会等の実施

食品工場における衛生知識や衛生管理技術の向上を通じて、より安全・安心な牛乳の供給を確保することを目的として、次のとおり研修会を実施した。また、この研修会が府民や保護者においても乳・乳製品を理解する上で有益な情報源となることから一般参加を呼びかけるとともに、その内容をホームページで公開した。

- 衛生研修会 平成31年3月18日 マイドームおおさか
・「HACCPの制度化に関して」

大阪府健康医療部食の安全推進課監視指導グループ
総括主査 笹田 眞由子 氏

7. 学校給食用牛乳供給事業

本事業は「酪振法」に基づき、安全で品質の高い国内産の牛乳を学校給食用に継続して計画的かつ効率的に供給することを内容とする事業であり、「学校給食用牛乳供給対策要綱（事務次官通知）」によりその実施が図られている事業である。

当協会は、今年度においても国の施策の実施主体として、大阪府内において下記の学校給食用牛乳供給事業の執行に努めた。

1) 国庫補助事業実施状況(事業実施主体事業)

(単位：円)

区 分		精算金額
1 学校給食用牛乳供給円滑化推進事業	学校給食用牛乳等推進協議会の開催	13,000
	学校給食用牛乳供給事業実施計画策定等に係る会議の開催	207,613
	実態調査等	616,067
2 学校給食用牛乳安定需要確保対策事業	学校給食用牛乳安定需要確保対策事業	49,099,321
3 高付加価値牛乳地域利用推進事業		0
4 学校給食用牛乳新規利用推進事業		0
計		49,936,001

※円滑化推進事業において、19,680円は協会負担になったため、補助金額は49,916,321円となる

2) 大阪府学校給食用牛乳推進協議会の開催

「大阪府学校給食用牛乳推進協議会規約」に基づき、学校給食用牛乳供給の円滑な推進に向け本年度は、「平成30年度学乳供給事業スケジュールについて」「紙化促進について」「学乳代金預り金について」「学校給食用牛乳における飲み残し等残乳調査」等々について協議を行った。

- | | | |
|-----------|-----|--------|
| (1) 推進協議会 | 第1回 | 7月25日 |
| | 第2回 | 12月10日 |

3) 学校給食用牛乳供給事業にかかる代表者会議

(1) 学校給食用牛乳供給代表者会議

- ①平成30年10月16日 ホテルグランヴィア大阪
・平成31年度の学乳供給について

②平成31年 3月 7日 スイスホテル南海大阪

- ・平成31年度学乳供給事業の全容について
- ・国庫補助事業について
- ・全国学乳価格状況について
- ・学乳事業緊急時連絡体制について

(2) 学校給食用牛乳供給事業者担当者会議

平成31年 3月14日 マイドーム大阪

- ・平成31年度学乳供給事業についての全容及び事務に係る処理等の説明
- ・国庫補助事業について
- ・緊急連絡体制について
- ・学乳供給にかかる各学校の納品時間について

III. 協会の運営状況に関する事項

定時総会及び理事会を開催し、定款に基づき協会の重要な意思決定及び協議を行った。

1) 総会の開催

第42回定時総会

- ア 開催日時 平成30年 6月 6日 15時30分
- イ 出席会員数 12社
- ウ 出席理事・監事数 8名
- エ 開催場所 三重県 榑原温泉湯元榑原館
- オ 主な議案と議決状況

「平成29年度事業報告及び収支決算報告」、「平成29年度決算剰余金の処分案」、「公益目的支出計画実施報告書」「平成30年度事業計画案及び収支予算案」「役員改選案」

以上の5議案を審議し、満場異議無く承認された

2) 理事会の開催

(1) 第1回理事会

- ア 開催日時 平成30年 5月21日 14時
- イ 出席理事数 8名
- ウ 出席監事数 1名
- エ 開催場所 大阪府牛乳協会 会議室
- オ 主な議案の議決状況

「第42回定時総会の開催日程について」、「第42回定時総会議案書について」(平成29年度事業報告及び収支決算報告の件)、(平成29年度決算剰余金処分案の件)(公益目的支出計画実施報告書)(平成30年度事業計画案及び収支予算案の件)

審議の結果、以上の議案及び協議事項について出席した全理事が了承した。

(2) 第2回理事会

- ア 開催日時 平成30年6月6日 16時20分
- イ 出席理事数 7名
- ウ 出席監事数 1名
- エ 開催場所 三重県 榊原温泉湯元榊原館
- オ 主な議案の議決状況
副会長（古池 智彦氏）
常務理事（巖瀬 茂氏）が選出された。

(3) 第3回理事会

- ア 開催日時 平成31年 3月25日 15時
- イ 出席理事数 7名
- ウ 出席監事数 1名
- エ 開催場所 TKP ガーデンシティ大阪リバーサイドホテル
- オ 主な議案の議決状況

「平成30年度決算見込みに関する件」、「平成31年度暫定予算案」、「旅費規程の改正に関する件」が審議されるとともに今後の会議日程等について協議がなされた。

審議の結果、以上の議案及び協議事項について出席した全理事が了承した。

3) 監事監査の実施

- ア 開催日時 平成30年 5月15日 14時
- イ 開催場所 大阪府牛乳協会 会議室
- ウ 監査結果
小椋浩之介監事による監査の結果、適正との監査結果報告を受けた。

IV. 諸会議に関する事項

1) 新年互礼会の開催

平成31年 1月15日 参加者50名 帝国ホテル大阪

2) 近畿ブロック乳業協議会の開催

平成16年3月に設立された当ブロック会議を開催し、乳業界が抱えている「諸課題」並びに「学校給食用牛乳供給問題」についての協議を行った。

平成31年1月28日 ホテルグランヴィア大阪

3) 中央団体の総会等

一般社団法人日本乳業協会定時社員総会	平成30年 5月18日 ホテルグランドパレス
全国飲用牛乳公正取引協議会定時委員会	平成30年 5月25日 ホテルメトロポリタンエドモンド
一般社団法人Jミルク定時総会	平成30年 6月15日 KKR ホテル東京

4) 他団体の総会等

一般社団法人全国牛乳流通改善協会	平成30年 5月22日 アルカディア市ヶ谷
公益社団法人大阪食品衛生協会総会	平成30年 5月28日 シティプラザ大阪
一般社団法人大阪府畜産会定時総会	平成30年 6月27日 大手前建設会館
公益財団法人大阪府学校給食会給食大会	平成30年 7月23日 大阪市中心公会堂